

※の内容は4ページに掲載しています。

◆区長の基本姿勢について

問 ①区長の4年間の感慨は。②30年度予算案への思いと決意は。

区長 ①歩んできた道の延長上に練馬区の未来があると確信。②区民と練馬ならではの新たな自治の創造を目指す。

◆「人事・人材育成改革プラン」について

問 ①プランに懸けた思いと狙いは。②「会計年度任用職員」への今後の対応は。

副区長 ①組織を活性化させ、職員の仕事への姿勢を変えていく。②現行の臨時・非常勤職員の任用実態等を調査。

◆財政計画について

問 ①好調な経済運営の受け止めと今後の見通しは。②財政調整交付金の都区間協議の論点と経緯は。③「地方消費税交付金」清算基準の都の説

◆区長の基本姿勢について

問 ①4年間の総括と展望は。②職員の人材育成の考えは。③今後の財政運営の考えは。

区長 ①これまで歩んだ道の延長上に練馬区の未来ありと確信。副区長 ②区民参加と協働推進する職員育成。企画

◆高齢者見守りネットワーク

問 ①高齢者が生き甲斐を持ち共に支え合う仕組みが必要。所見は。②交流拠点の設置を。③コンビニとの連携を。④地

◆高年齢者センター

高年齢者センターを再編し身近な地域での相談体制充実等。②今後3年間で街かどケアカフェを30か所に増設。③店員等への研修プログラム開発を支援。さらなる

◆住宅セーフティネット

①地域生活支援センターを拠点として整備。②来年度事業者補助を充実。③レ

◆全小中学校体育館への空調設備設置の対応と財源は。

副区長 ①調査実施し計画的に設計、工事。国庫補助金等の確保に努める。②来年度全小中学校体育館に3台配備。

問 ①中小中学校体育館への空調設備設置の対応と財源は。②大型扇風機導入の考え方は。③調査実施し計画的に設計、工事。国庫補助金等の確保に努める。②来年度全

◆障害者施設について

問 ①障害者施設増設の考え方。②障害者施設増設の考え方。③障害者施設増設の考え方。

副区長 ①福祉手当支給条例案を本定例会に提出。医療費助成は都が30年度から開始予定。連携し周知。②啓発事業を区として支援。③国制度に基づき民間事業者に広げる。

◆犯罪・再犯防止対策について

問 ①住宅確保要配慮者の相談窓口設置とサポート体制の構築を。②区居住支援協議会の設置を。

◆住宅確保要配慮者の相談窓口設置とサポート体制の構築を。

副区長 ①引き続き関係団体と連携した取り組みを検討。②設立も視野に入れ協議。

問 ①引き続き関係団体と連携した取り組みを検討。②設立も視野に入れ協議。

◆障害者(児)等施設について

問 ①計画相談支援事業所をつなぐネットワーク構築を。②グループホーム整備支援を。③生活、就労の一体的支援のため連携を。④共生型サービス周知を。⑤医療的ケアが必要な子どもの保護者の就労のため保育所等での療育・保育を。

◆環境施策について

副区長 ①コジエネレーションシステム導入の進捗状況は。②再生可能・省エネルギー設備

◆環境施策について

副区長 ①コジエネレーションシステム導入の進捗状況は。②再生可能・省エネルギー設備

◆関係機関・関係者との連携体制作りへの考えは。

副区長 ①関係機関・関係者との連携体制作りへの考えは。

問 ①関係機関・関係者との連携体制作りへの考えは。②関係機関・関係者との連携体制作りへの考えは。

◆生活保護制度について

問 ①保護世帯増加傾向の見通しと対応策は。②法改正の方向を踏まえた取り組みは。

副区長 ①当面緩やかな増と想定。的確に対応。②生活サポートセンター等と連携を図る。

◆農業振興について

問 ①「世界都市農業サミット」イベントの内容とスコミ等への対応は。②生産緑地の2022年問題について、都の独自支援に対する区の対応は。

◆講演会等実施。実行委員会検討中。

副区長 ①講演会等実施。実行委員会検討中。②連携密にし補助金の積極的活用検討。

問 ①講演会等実施。実行委員会検討中。②連携密にし補助金の積極的活用検討。

◆設置補助制度の周知を。

副区長 ①順天堂練馬病院と練馬光が丘病院で改修等に合わせ導入予定。②事例紹介等で普及・啓発。③イベント通し周知。④都と連携協力。

◆学校図書館について

問 ①学校図書館職員の連携機関の設置を。②システム化によるセキュリティ対策を万全に。③LILブックの導入活用を。④録音図書(マルチメディアアレイジ)の充実を。

◆研修等を通じて情報共有を図る。

教育長 ①研修等を通じて情報共有を図る。②個人情報にアクセスできる者の制限等。③区立図書館から学校への貸し出しや導入についても推進。

◆「森のようちえん」構想について

問 ①子どもたちへ自然体験を提供する新事業として導入を。②外遊びの場事業を拡充する中で具体的に検討。

副区長 ①子どもたちへ自然体験を提供する新事業として導入を。②外遊びの場事業を拡充する中で具体的に検討。

◆「子どもアートアドベンチャー」について

問 練馬におけるアート教育の質の向上につながる事業に地域文化 参加定員拡大等により多くの皆さまが質の高いアートを楽しめるよう工夫。

副区長 ①来年度設計着手。一体感のあるデザインを基本。

◆緑化について

問 ①リニューアブルエネルギーの整備を。②オーブンガーデン等の庭めぐりマップの作成を。③アトリウムガーデンニングの継続を。

◆青少年育成について

問 ①青少年委員会や所管事業の行進推進を。②青少年育成地区委員会の委託料増額や育成団体へのバス代補助を。③スポーツ大会優勝者等有望な人材への支援体制確立を。

副区長 ①青少年委員会や所管事業の行進推進を。②青少年育成地区委員会の委託料増額や育成団体へのバス代補助を。③スポーツ大会優勝者等有望な人材への支援体制確立を。

◆防災対策の強化について

問 ①河川改修終了地域にも想定外自然災害の備え意識を。②パネル型組立トイレ・ランタン・段差解消スロープ板を避難拠点に整備を。③軽可搬ポンプの更新を。④医療救護所等体育館へ空調機整備を。

◆集中豪雨への備え

副区長 ①集中豪雨への備え等周知。水害等想定した訓練を実施。②来年度から入れ替え、備蓄。配備を予定。③計画的に取り組む。④災害対策上の視点考慮し設置

◆公共施設等総合管理実施計画について

問 ①学校施設も併せてワンストップで対応できる組織の設置を。②実施計画の予算は、基金積み立てと起債の活用を。③総合調整を行う組織を

◆団体役割を檢討

教育長 ①団体の役割を檢討・整理。今日的な行政課題に即応できる事業執行体制を整える。②来年度予算で一定の増額を予定。事業に支障が生じないよう効果的な執行を図る。③先行自治体の例参考に研究。④世界都市農業サミットと国際交流について

問 ①団体の役割を檢討・整理。今日的な行政課題に即応できる事業執行体制を整える。②来年度予算で一定の増額を予定。事業に支障が生じないよう効果的な執行を図る。③先行自治体の例参考に研究。④世界都市農業サミットと国際交流について

◆「ごみ分別アプリ」の導入を。

副区長 先行自治体等から情報収集中。導入に向けて検討。

問 先行自治体等から情報収集中。導入に向けて検討。

◆地域おこしプロジェクトについて

問 ①「味(じ)スト口練馬」の取り組みを評価する。他選定団体の取り組みと進捗状況は。②新団体の選定方針は。

◆このような取り組み

区長 ①このような取り組みを区民は待ち望んでいたと実感。地域文化 コンビニエンスタア活用した高齢者見守り等。概ね順調。②斬新なアイデアにスポット当てられるよう新たな発想に基づき選定

副区長 ①地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置。②高齢者支え合いサポーターのスキルアップを図る研修を実施。③第7期計画でさらなる養成に取り組み

◆若者への支援について

問 ①ライフステージ別の具体的支援を。②奨学金返済生活支援事業補助金の活用を。

◆子ども・子育て支援事業計画で成長段階ごとに施策を展開。

副区長 ①子ども・子育て支援事業計画で成長段階ごとに施策を展開。福祉 ②さまざま

◆他自治体の動向を注視。

副区長 ①都安全教育プログラムの成果は。②ISSの先進事例の紹介を。③小学生向け救命講習子ども救命士育成を。④認知症支援について

一般質問は、2月5日・6日・7日の3日間、11名の議員が行いました。ここでは質問と回答の要旨を掲載しています。全文は、定例会閉会后、概ね2か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば(区役所西庁舎1階)、区議会ホームページで閲覧できます。また、質問の様子は区議会ホームページでご覧になれます。ぜひご利用ください。

◆区長の基本姿勢について

①グラントデザイン構想は財政的裏付けもなく、根拠のない青写真。暮らし・福祉・営業第一の予算に転換を。②各種行政計画策定はこの進め方で本間に区民の声を反映できると。説明会参加も少数

③構想はビジョンの延長線上。暮らし・福祉中心にバランスを取れた予算となった

④意見募集期間は規則の倍に設定。説明会もきめ細かく実施。指摘は当たらない

◆保育について

①保育サービスの量の見込みは甘かったのではないかと。②定員拡大は実態直視し目標設定を。③区立直営園増やし保育士を確保せよ

◆こども

①供給が必要を掘り起こしたと認識。②ニーズ調査による潜在的需要に近年の増加傾向を加味した。③処遇

◆区長の基本姿勢について

①今後の練馬区の課題認識は。②平成39年以降大幅に年少人口・生産年齢人口が減少していく予測に対して課題認識は。③平成30年度予算編成に対する基本姿勢は。④勤労世代が働きながらでも地域活動や区の事業へ参加しやすい取り組みを考えていくことが地域活動の担い手不足解消につながる。所見は。⑤今後の地域活動には町会、商店会、ボランティア団体等各団体の横のつながりを区がサポートする仕組みが必要。所見は。

①ソフトとハード両面にわたるインフラ整備の加速が必要。②税収減により経済成長に依存した財政運営が困難な中、福祉・医療等増大する行政需要に対応しなければならぬ。③アクションプラン・区政改革計画の着

改善等で確保見込み。引き続き委託・民営化に取り組む

◆介護保険について

①第7期計画での介護保険料は全階層で値上げ。中間所得層も負担軽減を。②高所得層の多段階化で負担率の均衡図れ。③地域包括支援センターの専門職は常勤で専任配

置せよ。④利用抑制で、必要なサービスが取り上げられぬよう対応策を。⑤特別養護老人ホーム整備目標は需要数に届かず。引き上げを。

◆高齢施策

①低所得者と同様、上昇額を抑えるよう設定。②さらなる多段階化の効果は限定的。③総計69名増員。配置予定を見直す考えはない。④

実な実施を最優先。地域文化

④活動団体と共に情報発信手段を工夫し、環境を整える取り組みを検討。⑤地域活動フェスティバル等を通じ、団体同士の交流の機会を設ける。

◆待機児童対策について

①育児休業を取得しやすき環境としていくため1歳児

受け入れ枠の安定的な確保が必要。所見は。②育児休業を早めに切り上げて0歳児クラスに応募する保護者が多いのではないかと。この状況について区は認識は。また、育児休業と入園状況の実態調査を。

◆教育

①育児休業取得の推進に向け引き続き国に強く求めていくとともに、1歳児の

地域ケア予防会議を設置。より適したサービスを提供。⑤不足との指摘は当たらない。計画に基づき着実に整備。

◆教育施策について

①小規模校は再編ありきでなく利点生かし地域と方向性決めよ。②小中一貫校推進。適正配置の方針見直しを。③

⑤対象拡大等は考えていない。⑥低所得家庭には補助。現時点で無償化の考えはない。

◆まちづくりについて

①住民合意が得られない優先整備路線は事業化するな

②検討中の一都市計画道路の基本方針は実現性の検討を都に求めよ。③無電柱化は狭く危険な道路こそ優先を。④行政窓口等は駅周辺への集約ではなく徒歩圏内に整備を。

◆技監

①都市計画道路の整備は不可欠。丁寧な説明等行い進める。②再検討を求めるとは。③防災機能強化等の視点等から優先路線を選定。歩道の狭い既存道路も対象。④集約して利便性を高めることは多くの皆さまの利益に資する。

◆土木

③防犯機能強化等の視点等から優先路線を選定。歩道の狭い既存道路も対象。④集約して利便性を高めることは多くの皆さまの利益に資する。

◆都市計画道路について

①都市計画道路が区にもたらす効果は。②都市計画道路第4次事業化計画を推進していく上で区の決意は。③区内に多数存在する消防活動困難区域の解消に向けた区の考えは。

①自動車交通の円滑化や災害時の活動経路の確保等多様な効果。②都と連携し早期事業化を図り、地域のニーズに沿った豊かな都市空間を作る道路整備を進める。③老朽木造住宅の密集地域では密集住宅市街地整備促進事業による道路整備を進める。

◆区内産業の振興について

中小企業や商店街個店の事業承継への取り組みは。

◆都市農業について

①農業者の高齢や後継者の不安への対応は。②区民農園の増設を。③国の生産緑地貸借検討の進捗は。④特定生産緑地制度の説明と窓口は。

◆都市農業

①農サポーター育成。必要な技術面をサポート。②宅地化農地の提供を促す等。③国会に新法案提出準備。④相談窓口設置し丁寧に対応

◆木造密集地域の改善について

①四商通り路線用地買収の進捗状況と課題は。②富士見台駅周辺まちづくり計画の取り組みは。③新たな事業候

補地区の検討状況と予定は。④北側区間は約4割取得。残地の再建困難な狭小敷地が多い。⑤地区計画素案の検討中。⑥現在調査中。緊急性等勘案し、来年度選定。

◆高齢者対策について

①介護従事者の資格取得支援制度の充実を。②街かど

◆子どもたちが夢に向かって羽ばたける教育を

①区内企業への障害者雇用率変更等の周知は。②精神障害者雇用への所見は。③支援施設の防犯対策は。④障害者スポーツへの取り組みは。⑤区内駅ホームの安全対策の状況と私鉄各線への要望は。

◆福祉

①さまざまな機会捉える。②生活・就労の一体的支援体制強化。③防犯設備等の

◆教育について

①就学前教育の現状と今後は。②教育格差は正への対策は。③夢や目標を捉え、自ら学ぶ姿勢を育む教育への取り組み内容は。

◆教育

①発達段階に応じ進める。幼保小の連携強化等。②地域未来塾の一層の拡充等。③キャリア教育を核とする。

◆エネルギー施策について

①エネルギービジョンの見直しにあたり福島第一原発事故の反省から原発ゼロ、自然エネルギー100%への転換をめざすことを明記すべき。

◆環境

①原子力発電は国の政策で取り扱われるもの。原発ゼロに向けた取り組み等を説明。策に生かされているのか。②基本的な権利に基づいた男女平等と多様性を認める条例制定を区民参画で検討すべき。

◆総務

①来年度実施する実態調査を、第4次計画の評価と次期計画の策定に活用。②現時点では制定する考えはない。

◆新しい自治の創造は区民との対話で

生活者ネットワーク

◆きみがき

◆生活者ネットワーク

◆きみがき

◆生活者ネットワーク

◆きみがき

◆生活者ネットワーク

◆きみがき

◆生活者ネットワーク

◆きみがき

◆区内産業の振興について

◆都市農業について

◆高齢者対策について

◆子どもたちが夢に向かって羽ばたける教育を

◆エネルギー施策について

◆環境

◆新しい自治の創造は区民との対話で

◆生活者ネットワーク

◆きみがき

◆生活者ネットワーク

◆きみがき

◆生活者ネットワーク

◆きみがき

◆生活者ネットワーク

◆きみがき

◆生活者ネットワーク

◆きみがき

◆生活者ネットワーク

◆きみがき

◆生活者ネットワーク

◆きみがき

◆生活者ネットワーク

◆きみがき

◆生活者ネットワーク

◆きみがき

◆社会全体で子育てを支える、子育て支援について

①虐待に苦しむ子どもたちの未来を真に考える区長の思いは。②2020年から開始となる幼児教育・保育の無償化の際には、認証保育所等、認可外施設も対象となるように働きかけを。また、より一層の定員拡大を。③育児休業の延長は、保育園に入れないことが前提条件。延長するために入園申し込みをする方もおり、待機児童発生を助長している。育休法の抜本的改正の働きかけを。④サービス向上と財政効果の観点から区立保育園の民営化推進を。

子どもたちの未来のため、まっすぐに政策実現

練馬区議会自由民主党 かしま まさお

◆公園づくりについて

①公園内防犯カメラの設置拡充を。②ボール遊びができる、子どもたちが自由に遊べる環境整備を。③使用料収入を上げ、発災時は飲料確保もできる災害時対応型自動販売機設置の検討状況は。④公園・児童遊園における喫煙の在り方について議論を。

◆保育園・大泉学園駅周辺の課題について

①西武池袋線(大泉学園)保谷区間の将来的な立体化に向けた決意を。②みどりバス(保谷駅南口乗り入れ)に向けた状況や見込みは。③「映像文化のまち構想」について、大泉で映画祭を開催する等地

◆児童相談所の区移管について

①前区長は児童相談所の区移管に積極的だった。なぜ見解を変えたのか。②児相設置に取組む他区を「無力で不幸な子どもたちを利用した『政治的』パフォーマンス」と誹謗した発言を撤回すべき。

児童相談所を区に！ 障害者差別解消条例を！

市民の声ねりま 池尻 成一

◆アクシオンプランについて

外環・外環の2沿道地区は、住民との協議が進まないまま重点地区まちづくり計画の区域指定を行うべきでない。

◆公園管理の課題について

①三宝寺池が区に譲与された。区民の活動拠点である

注視し、さらなる定員拡大の必要性について検討。③引き続き、保護者のニーズに応じた総合的な子育て政策を国に強く求める。④今後概ね10年で20園を委託化し、民営化にも取り組む。保育水準確保等の課題について全庁的に検討。◆子育てしやすい街にふさわ

◆土木

①公園の不適切利用に対する抑止効果を検証し検討。②安全利用との両立にはきめ細かい管理が必要。みどりの区民会議での議論を踏まえ検討。③自動販売機事業者に、入れ替えや設置の可能性の検討を依頼中。◆健康

◆健康

④健康増進法改正の動向注視し、さまざまな区民の意見を聞き検討。◆保谷駅・大泉学園駅周辺の課題について

◆西武池袋線(大泉学園)保谷区間の将来的な立体化に向けた決意を。

◆みどりバス(保谷駅南口乗り入れ)に向けた状況や見込みは。

◆映像文化のまち構想について、大泉で映画祭を開催する等地

し、意見を聞きながら進める。

◆小竹小等の統廃合について

針は白紙にすべき。小竹小は早期に建て替え、旭丘小は小規模校の良さを生かしたモデル的な整備等充実策を講じ、新たな整備にあたっては、地域の核として施設の複合化・

石神井公園の区移管検討を。

◆新たな白子川河川整備計画に盛り込まれた大泉井頭公園の巨大調節池が水辺環境等の価値を損なうことを危惧。認識は。③白子川雨水調節機能の分散は西東京市との協議を。

◆石神井公園は都が優先的整備公園と位置付け事業

多機能化を図ることを求める。

①三宝寺池が区に譲与された。区民の活動拠点である

◆平成30年度予算について

①予算編成にあたっての基本的な考えは。②今後の歳入の見直しは。◆企画

◆アクシオンプラン・区政改革計画の着実な実施を

最優先。②国の税制改正による減収拡大、生産年齢人口減少に伴う減収は避けられない。◆ランドデザイン構想について

◆成案に向けて「区民の声」をどのように取り入れていくのか。

◆長期にわたつての構想なので実現のためどのように計画を進めていくのか。

◆さまざまな地域の集会等を通じて直接意見交換を行うっていく。

◆みどりの風吹くまちビジョン等を改定しながら順次明らかにする。

一般質問(要約)

注記

(2ページ)

※1 生産緑地の2022年問題：2022年に生産緑地が都市計画決定後30年を経過し、買取り申出をすることができるようになることから、都市農地の急速な宅地化が懸念される問題。

※2 スポットビジョンスクリーナー：6か月の乳児から使用できる視機能検査機器。

※3 コジエネレーションシステム：二つのエネルギーを同時に生産し供給する仕組み。まず発電装置を使って電気を作り、その際に排出される熱を回収して給湯や暖房等に利用する。

※4 ZEH(ゼッチ)：「Net Zero Energy House」の略。省エネルギーに努め、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、一次消費エネルギー量(空調・給湯・照明・換気)をほぼ賄える住宅のこと。

※5 LEPブック：スウェーデン語の「やさしく読みやすい本」という言葉の略語。写真や絵、絵文字、短い言葉等で構成される知的障害、自閉症等の人が理解しやすく作られている本。

※6 認知症リンクワーカー：サポートランドで始まった認知症の早期サポート制度。認知症に関する知識を持っている保健師や看護師等が、認知症と診断された高齢者の自宅を訪問し、支援を行っていく。

※7 ISS:「International Safe School」の略。安全な教育環境の整備に取り組んでいる学校に対して、国際セーフティセンターが与える国際認証。

※8 特定生産緑地制度：生産緑地法の改正により、生産緑地地区指定後、30年を経過する農地等について、区市町村長が特定生産緑地として指定することにより、買い取り申し出時期を10年延長する制度。

※9 地域未来塾：家庭での学習が困難な児童・生徒や、学習習慣が十分身に付いていない児童・生徒に対して、学校が放課後等に大学生や教員OB等地域住民の力により、学習支援を行うもの。

◆民泊とシェアハウスについて

民泊は、外国人観光客等のニーズに対応している一方で住環境への悪影響等も懸念されている。①条例制定にあつての基本的な考えは。②平日の営業を制限する理由は。◆都市農業

◆地域特性を考慮し、住宅宿泊事業の適正な運営を

◆施設整備の補助制度を農業者に個別に説明する機会を設ける等、新規

◆電気自動車(EV車)の活用と普及について

EV車はCO2の排出の効果があがるばかりでなく震災時のエネルギー確保にも活用できる。医療救護所への外部給電機器の設置の進捗状況は。

◆整備済みのものと合わせ10か所全ての医療救護所に平成31年度までに順次配備。

◆電子タバコへの対応について

◆区条例に加熱式タバコを追加した規定の整備を。

◆加熱式タバコの健康に関する被害についてどう捉えているか。

◆健康増進法改正の動向を注視する。

◆国の法改正を踏まえ対応する。

◆個人消費の低迷に加え、経営者の高齢化と事業

◆個人消費の低迷に加え、経営者の高齢化と事業

◆個人消費の低迷に加え、経営者の高齢化と事業

あなたの「声」届いていますか！

練馬区議会維新の会 山田 かずよし

◆開設を促す。

◆産業振興について

近年中小企業の廃業が課題となっている。①区ではこの5年間でおよそ800社の事業所が減少したが、原因の分析は。②事業承継支援の今後の進め方は。

◆個人消費の低迷に加え、経営者の高齢化と事業

◆個人消費の低迷に加え、経営者の高齢化と事業

◆個人消費の低迷に加え、経営者の高齢化と事業

◆個人消費の低迷に加え、経営者の高齢化と事業

◆個人消費の低迷に加え、経営者の高齢化と事業

◆個人消費の低迷に加え、経営者の高齢化と事業

◆個人消費の低迷に加え、経営者の高齢化と事業

◆個人消費の低迷に加え、経営者の高齢化と事業

◆個人消費の低迷に加え、経営者の高齢化と事業